橋本エンジニアリング株式会社

静岡県浜松市

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

ポイント

脱下請けを目標に同社独自の商品を開発 介護福祉事業者向けの超軽量折り畳み式車いすの開発に成功

○超軽量素材のマグネシウムを使用することで世界最軽量クラスの車いすを実現
○県内７社の企業でプロジェクトチームを組み２年がかりで開発したもの
○既存の二輪車部品加工での東南アジアへの進出実績に加え車いすについてもインドネシアを拠点に展開予定

企業基本情報

所在地	静岡県浜松市浜北区平口 5559
電話 /FAX	053-587-6508/053-587-2289
U R L	http://hashimoto-eg.com
代表者	代表取締役社長 橋本　裕司
設立	1968 年
資本金	1,600 万円
従業員数	80 人

会社概要

1968 年創業時は二輪車及び楽器部品のプレス、溶接、組立製造を行っていた。1980 年頃よりプレス金型の設計製作始め、その後は金型の加工技術を生かして試作部品の加工を行ったり、治工具を手掛け始めたり、徐々に対応可能な業務を展開させて企業規模を拡大。現在では設計、試作、品質検査請負、金型及び治具設計、鍛造加工業務を行う。近年では同社オリジナル商品でグッドデザイン賞 BEST100 を受賞した世界最軽量の車いすを開発し、新事業展開にも注力している。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

従来式の車いすに比較して価格面及び重量面にて優位性あり

車いすでは世界で初めてマルチマテリアル技術を採用。メインフレームは実用金属で最も軽いマグネシウム合金が使用されている。しかしマグネシウムは塑性加工が非常に難しい材料だった。同社は、オートバイの町浜松の高度な加工技術を保有している中小企業が多数あるため、匠の技術を連携して世界最軽量車いすの開発プロジェクトチームを発足し、開発に成功。従来式の車いすに比べて重量面だけでなく、デザイン面にも優れアルミ製の車いすと比較しても価格面でも優位性があるもの。日本国内への展開後、海外への展開も期待されており、持続的な収益につながるものと思慮される。

X70（エックスナナマル）

地元企業を連携して商品開発

県内企業とプロジェクトチームを発足し、商品開発に取り組む。二輪車、四輪車の製造工場が多い静岡県の特色を活かし、車いすで初めて軽量化技術マルチマテリアル化のボディーを採用。金属フレームで世界最軽量を実現し、従来式に比べて革新的な車いすの開発に成功。地域の特色のものづくり技術を活かし、車椅子の開発で得た軽量化技術はアシストロボットスーツのフレームなど主要部品にも採用されるなど、新たな技術で地域経済の活性化に貢献。技術力の高さから競争優位性を確立している。

MC-X（エムシーエックス）

海外における販路開拓を進め、東南アジア市場への進出を達成

二輪車部品加工事業は東南アジアへの展開の実績がある。インドネシアに工場保有。インドネシアでは現状二輪·四輪車部品加工のみ行なっているが、同国の車いすのニーズ調査を踏まえた製品開発にも取り組む予定で今後更なる事業展開が見込まれている。また、インドネシアだけでなく韓国等の東南アジア全域のニーズ調査を実施しており、今回開発した折り畳み式車いすについても順次海外に展開していく方針。

インドネシア工場